

令和5年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	大砂土デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区今羽町637番地1</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③事業内容 老人デイサービス事業(定員15人) 生きがい活動支援通所事業</p> <p>④施設の概要 開設年月 平成10年1月 延床面積 228.64㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(センターは1階部分)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 欣彰会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和3年度 5,695千円 令和4年度 5,867千円 令和5年度 5,695千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 3,440人(前年度 3,462人) ・稼働率 91.4%(前年度 95.0%)</p> <p>◇業務実施状況</p> <p>①利用者一人ひとりにしっかりと着目したサービス提供を心がけ、利用者がデイサービスに通うことの目的を明確にしておくことを目標に、個別ニーズへの柔軟な対応をしたことで、利用者の自発的な活動へのきっかけ作りが積極的に行えました。特に手芸活動においては、自宅に帰ってからも活動を意欲的に取り組むようになったとの声も聞かれ、自立支援に必要な心の活力の刺激となりました。また、併設している泰平小学校児童との交流も昨年7月より少しずつ再開し、従来通りの交流までとはいきませんが、徐々に事業所本来である子供達との触れ合いができました。</p> <p>②維持管理業務の状況 例年同様に新型コロナウイルス感染症、その他の感染症に留意し、事業所全体の消毒・清掃・換気の徹底を図り感染者を出さなく運営することができました。修繕としては、事務所のエアコンが劣化により更新し、給湯室内の水道蛇口も劣化のため、更新しています。</p> <p>③その他の業務 昨年6月には介護福祉士の配置基準による加算算定でも最上位の加算を取得。9月には利用者・家族より以前から要望のありました平日における祝日のサービス対応について、正式に開所してサービス対応を図ることができ、事業所評価として柔軟かつ公正な運営を行うことができました。</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 39,472千円(前年度33,147千円) ・指定管理料 5,695千円(前年度 5,867千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 28,657千円(前年度27,104千円) ・事務費 7,051千円(前年度 7,527千円) ・施設管理費 0千円(前年度 0千円) ・事業費 4,475千円(前年度 4,474千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>令和5年11月に食事アンケート、令和6年2月にサービス満足度調査を実施し、利用者からは高い評価を受けております。また、併設する泰平小学校の評議員を努め、地域からのご意見として、学校とデイサービス間での積極的な交流学习をもっと向上していけることを望む声があがっており、現在、学校側と協議を重ねております。</p>
(8)その他	<p>昨年7月頃より地域ボランティアとの交流を再開し、感染症対策を徹底した体制下において実施しております。ボランティアの皆様も協力的であり、お互いに注意を払いながら利用者の喜ぶ音楽会や楽器の演奏会を行っています。</p>

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
事業所の安定した稼働率を維持	<p>令和5年度については、既存利用者の著しい状態の低下により、継続したサービス利用が難しく、他サービスや入所施設等への変更により終了となるケースが多く見られました。年間稼働率につきましても、体調不良者が例年以上に多く欠席者が増加したことなどもあり、最終目標の94%を達成することができませんでした。その他においては、介護福祉士の資格割合に応じた加算算定の最上位を取得し、利用者・家族から要望の多かった平日における祝日開所も対応できる体制を整えることができました。</p>
利用者の自立支援に繋がるサービス提供を強化していきます。	<p>利用者個々の活動の質を高められたことで、活動から利用者同士の交流するきっかけを作り、その活動を通じて利用者自身が自宅でも手芸活動を取り組むようになったとの声も聞け、自立支援に必要な心の活力を高めることができました。</p>
地域に根差した事業所を目指し、地域住民と共に成長できる関係性の構築と社会貢献活動の普及に努めます。	<p>昨年7月より、併設する泰平小学校児童との交流を少しずつ再開し、福祉教育の一環である学習に関しても携わることができました。学校運営協議会にも積極的に参画し、デイサービスとの協力関係の中で、お互いが切磋琢磨でき、非常に良い関係性を構築することができました。学校以外でも自治会や教育機関とも多岐にわたり双方の積極的なコミュニケーションから情報共有を図ることができ、地域と共に成長していくネットワークを築くことができました。</p>
総合事業利用者の新規受け入れを積極的に行います。	<p>昨年度の課題であった利用形態や送迎時間を見直したことで需要が伸び、新規相談の依頼も増え、昨年度よりも多くの方を利用に繋げることができました。特に送迎ルートを組み直しにより以前まで難しいとされてきたエリアへの送迎が可能となり、利用者からの要望に応えることができました。</p>

3 評価

(1) 指定管理者による評価

目標であった年間平均稼働率94%の数値を達成することができなかったことは次年度への課題として受け止め、既存利用者の状態低下を少しでも予防していくことに重点を置いたサービス内容として次年度に繋げていきます。令和5年度の取り組みとして、サービス提供体制加算の最上位取得、平日における祝日開所などサービスの基本となる体制整備を図れたことは、今後の需要拡大に向け大きな進化を遂げられたものと評価しています。利用者サービスにおいては、一人ひとりのニーズをしっかりと把握し、何を望んでデイサービス利用をしているかを明確にでき、個々の楽しみ方やお仲間との交流促進のきっかけが作れ、心の活力に大きな影響を感じていただけました。また併設する泰平小学校児童との交流再開ができたことで、利用者が刺激的な生活を送ることができ、子供達も自然な形で福祉に触れ、体験できる環境となり、泰平小学校独自の福祉教育が今一度強化された年でありました。次年度も引き続き、交流の意義や展開方法などを模索しながら、双方にとって有意義な関係性となるよう進めていきます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B) ※A~D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・併設の小学校との交流事業の実施や、利用者ニーズに応じたサービス提供など、施設の利用率の向上に努め、引き続き高い稼働率を維持している点を評価した。

(2) 「経費の削減」に対する評価

・節電対策等に努め、光熱費の使用量の削減を図ることができた点を評価した。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

・介護施設という観点から、新型コロナウイルス感染症やその他の感染症対策を継続し、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた点を評価した。また、迅速な修繕を行い、利用者への影響を最小限にするよう努めている点や市への報告を適切に行っている点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。